

キラボシ★発表会

実現したい世界にむけて一歩踏み出せた！

電気科の生徒で構成する2チームが、キラボシプロジェクト U18 に参加し、活動の成果発表会に参加しました。（10月30日 松江商工会議所）

発表会では、他校の生徒と一緒に、自分たちの成果、失敗談や工夫したところなどを堂々と発表しました。

会場からは、多くの質問・反響があり興味をもっていただけでした。



チーム① でんボラ・プロジェクト (電気で地域を元気にしたい！ボランティアねっと)

☆ 高齢独居宅に伺って電気まわりのメンテナンスを行っている電ボラチーム。キラボシでは地域コミュニティにお邪魔して、電気のことでお役に立ちたいと思いました。

コロナ禍で苦労しましたが、とくに今回は堅町商店街の街灯のメンテナンスを行ったり、店舗のコンセントの増設工事を行いました。

学校で学んでいる電気工事の勉強にもなりました。

さらに、災害時やイベント（もちろん平時にも）に運び充電しながら電化製品や充電に使えて、持ち運べる電源「マイでんりょく」（初号機）を製作しました。誰もが電気をつくって、持ち運んで使えたらうれしいです。

発表者：電気科3年 安倍光志郎、片寄海生、原裕樹



色々な場所に持ち出せるマイでんりょく

チーム② サップボードを楽しみながら松江の川を綺麗にしよう！

☆ エネルギー利用や環境について学ぶなかで、松江のまちの環境に関心を持ちました。

とくに、水郷まつえは川・水が多く、とても癒やされますが実態はどうでしょうか。

サップボードで水路をめぐるイベントを開いて、人を巻き込みながら自然観察、ゴミ拾いなどの美化活動を開催しました。

関係各所との調整、人集め、広報に苦労しましたが、人を巻き込んだ企画を考えるのは充実していました。

発表者：電気科2年 山本康平、光田雅哉



★キラボシプロジェクト

【主催：MATSUE 起業エコシステム推進会議 企画運営：2022 キラボシプロジェクト事務局（松江商工会議所）】は、実現したい世界や笑顔にしたい人のために、市内の高校生・大学生が自ら事業・ビジネスを企画・実践するアントレプレナーシップ教育プログラム。

松江市が、産官学金の連携による地域の新しいビジネスモデルを継続的に生み出す環境づくりを目指す「MATSUE 起業エコシステム推進会議」の事業のひとつとして展開した。